

千葉市立高等学校改革の評価・検証

～ 最終まとめ ～

本 編

平成26年3月

千 葉 市 教 育 委 員 会

は じ め に

本市では、昭和34年4月に千葉市立千葉高等学校（以下「市立千葉高校」という。）を、昭和54年4月に千葉市立稲毛高等学校（以下「市立稲毛高校」という。）を開校いたしました。両校とも文武両道を標榜し、活発に部活動を行うとともに、高い進学実績を誇っております。

また、市立千葉高校には、昭和45年に理数科を、市立稲毛高校には、平成2年に国際教養科を設置し、それぞれの特色ある学科が学校運営に生かされるなど、普通科にも好影響を与えて参りました。

平成3年4月に中央教育審議会から提出されました答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」を皮切りに、情報化や国際化をはじめとする社会の変化と多様な進路ニーズや教育ニーズに対応するため、全国的に高等学校改革が広がる中、本市においても、平成17年6月に、魅力ある高等学校づくりを推進するため、単位制高等学校や中高一貫教育などの研究を進め、市としての高等学校改革の方針として「千葉市立高等学校改革基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定いたしました。

この基本方針に基づき、市立千葉高校では、平成19年度入学生から、これまでの理数教育の実績を生かし、多様な進路ニーズに対応する単位制を導入し、市立稲毛高校では、平成19年4月に、これまでの英語教育の先進的な取組を発展させ、中高一貫教育を導入し、市立稲毛高校附属中学校を開校いたしました。

本市では、平成21年3月に「千葉市学校教育推進計画」を策定し、その具体施策の中に「市立高等学校教育の充実」、アクションプランとして「市立高等学校改革の評価・検証」が位置付けられていること、平成22年度は、市立千葉高校の卒業生の進路状況、市立稲毛高校の内進生や市立稲毛高校附属中学校の生徒の状況等の調査に相応しい年度であることから、平成23年2月に本市の高等学校改革のこれまでの成果と課題を洗い出し、「中間まとめ」として整理いたしました。

そして、平成25年3月には市立稲毛高校初の内進生が卒業し、その進路状況を調査することが可能となり、平成22年度に作成いたしました「千葉市立高等学校改革の評価・検証～中間まとめ～」における課題への対応とこれまでの成果を改めて検証するとともに、市民の多様なニーズと社会の変化に対応できる魅力ある市立高等学校づくりの更なる推進に資するため、本年度「千葉市立高等学校改革の評価・検証～最終まとめ～」を行いました。

このまとめを通じ、本市の高等学校教育の更なる充実に努めて参りますので、市民の皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成26年3月

千葉市教育委員会

目 次

I 千葉市の高等学校改革	1
1 改革の背景・経過	1
2 千葉市の高等学校改革の概要	2
II 評価・検証の目的と進め方	4
1 目的	4
2 進め方	4
(1) 評価・検証の年度（中間まとめと最終まとめ）	4
(2) 「千葉市立高等学校改革 評価・検証研究会」	4
(3) 各種調査（平成25年度）	5
III 改革の成果と課題	8
1 市立千葉高校	8
2 市立稲毛高校・附属中学校	13
IV 最終まとめを終えて	20
1 中間まとめにおける改革の課題への対応	20
2 改革の成果	20
3 課題	21
4 今後の方向性	22
平成25年度千葉市立高等学校改革 評価・検証研究会	23

別冊 資料編 各種調査の結果	
1 市立千葉高校	
(1) 基本調査結果	1
(2) 小・中学校長代表対象意見交換会結果	3
(3) 聞き取り調査結果	4
(4) アンケート調査結果	7
2 市立稲毛高校・附属中学校	
(1) 基本調査結果	20
(2) 小・中学校長代表対象意見交換会結果	25
(3) 聞き取り調査結果	27
(4) アンケート調査結果	29

